

# 「低炭素社会に向けた12の方策」より

Low Carbon Compact City Life

## コンパクトで快適な街

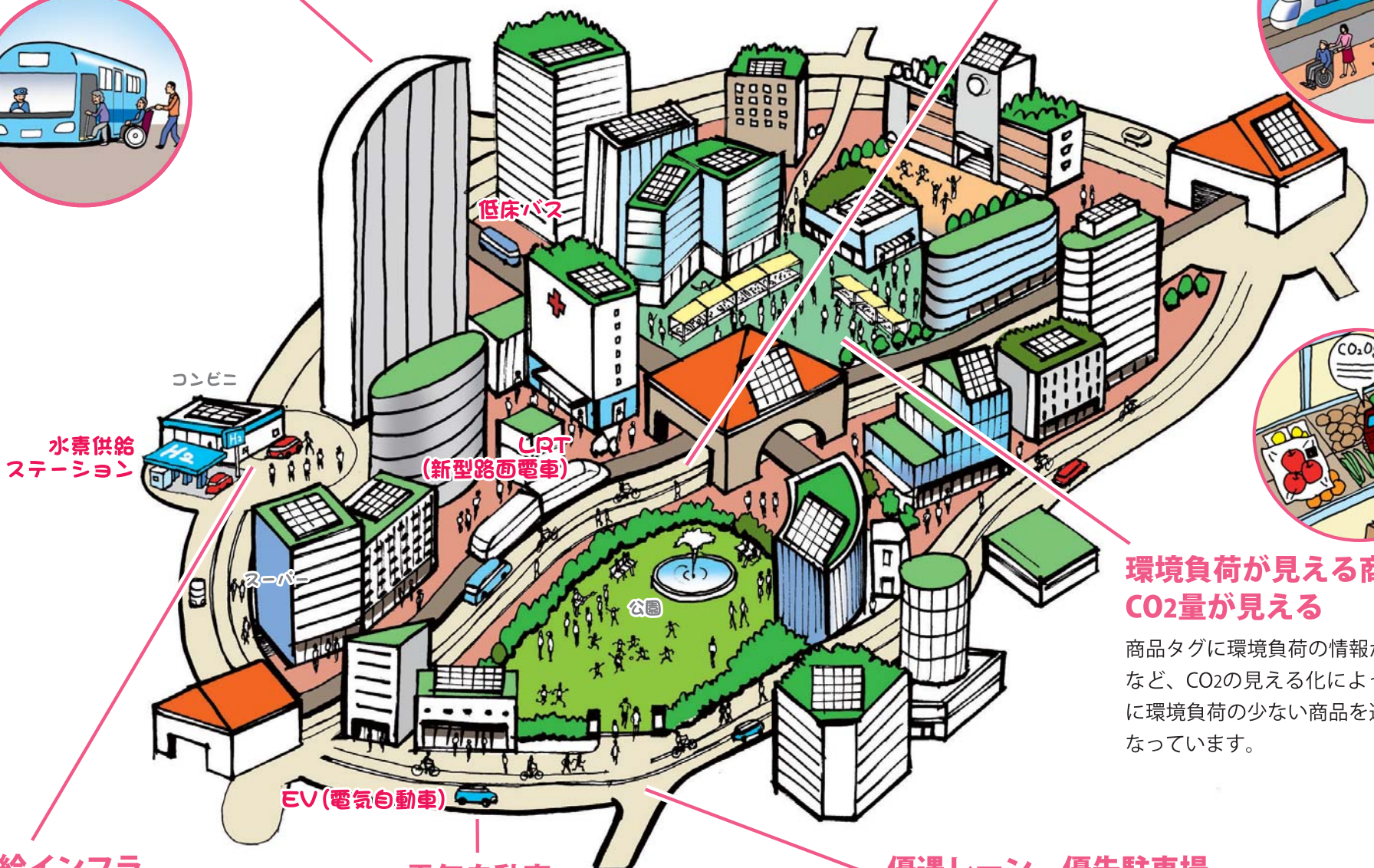
- POINT 1** 利用頻度の高い施設は、中心市街地に集中しています。LRT(新型路面電車)や低床バスなど、環境にやさしい公共交通機関が利用しやすくなっています。
- POINT 2** 歩行者や自転車の優先エリアが設置され、エネルギー消費が少なく安全な街となっています。
- POINT 3** CO<sub>2</sub>排出量が少なく、家庭で急速充電できるバッテリー電気自動車、燃料電池自動車の利用が進んでいます。街の中には、充電・水素供給スタンドが設置されています。

### コンパクトな街、中心部に利用頻度の高い施設

利用頻度の高い施設は、中心市街地に集まります。LRT(新型路面電車)や低床バスなど、環境にやさしい公共交通機関のネットワークで結ばれているため、移動がしやすい都市構造となっています。また、パークアンドライド(最寄り駅まで自動車を利用し、駐車した後、公共交通機関に乗り換えて、目的地まで移動する方式)や乗合タクシー、カーシェアリングなどの手段が整備されているため、自動車利用から排出されるCO<sub>2</sub>の削減が可能となっています。

### 安心して歩ける街、自動車の進入を規制

歩行者や自転車利用者に開放されるエリアが設けられ、自動車の進入が規制されています。車椅子やお年寄りでも安全・安心に通行できる街となっています。



### 水素供給インフラ、急速充電インフラの整備

電気自動車あるいは燃料電池車を普及させるために、ガソリンスタンドの代わりとなるインフラが整備されています。

### 電気自動車

よりCO<sub>2</sub>排出量が少なく、家庭で急速充電できるバッテリー電気自動車や、燃料電池自動車などの利用が一般的となっています。

### 優遇レーン、優先駐車場、エコカーのニーズが高まる

エコカーでなければ通過できない優遇レーンや、エコカーへの優先駐車場、電気自動車の急速充電インフラなどが整備されています。利便性の面からも、エコカーへのニーズが高まっています。

### 環境負荷が見える商品、CO<sub>2</sub>量が見える

商品タグに環境負荷の情報が記載されるなど、CO<sub>2</sub>の見える化によって、買物時に環境負荷の少ない商品を選ぶようになっています。

「低炭素社会に向けた12の方策」

「2050 日本低炭素社会」シナリオチーム [(独) 国立環境研究所・京都大学・立命館大学・みずほ情報総研(株)]  
[http://2050.nies.go.jp/20080522\\_press/index.htm](http://2050.nies.go.jp/20080522_press/index.htm)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% [www.team-6.jp](http://www.team-6.jp)